

赤磐市 消防本部



消防職員募集

仕事の内容

消防隊



消防隊は、消火活動を主な任務にしており、火災現場において消火活動にあたり、災害対応以外にも防災訓練等の指導を行い、市民の生命と大切な財産を守っています。

予防



予防課員は、一人の「行動」や「言葉」で、数百人・数千人という命を助けることができます。市民とのふれあいを大切にしながら、「言葉」で火災を未然に防ぎます。

救急隊



救急隊は、けがや急病の方のもとへいち早く駆け付け、的確な処置と判断で、適切な医療機関へ搬送します。各署所に「救急救命士」が配置され、高度な救命処置を行っています。

救助隊



救助隊は、交通事故や水難事故現場などの過酷な現場に出動し、ロープや特殊な資器材を扱い、要救助者を救出します。人命救助の最前線で活動しています。

通信指令室



通信指令室は、119番通報を受信し、災害に応じて消防隊や救急隊への出動指令を行います。災害の司令塔として活躍しています。

赤磐市消防本部の魅力



消防本部庁舎は平成25年に新築。



女性仮眠室も完備！中にはトイレ・お風呂・洗面所もあります！



男性仮眠室は完全個室！



ホッケー競技が盛んな赤磐市。日本代表選手との交流もあります。

赤磐市消防本部は、職員数82名の小規模な消防署だからこそ魅力がたくさんあります。1人1人の負担は多いかもしれませんが、その分みんなが主役になれる職場です！



中型自動車運転免許や小型船舶免許、移動式クレーンや玉掛け免許の助成制度あり！



消防本部内の選抜試験に合格すれば、救急救命士の資格を取得可能！



赤磐市マスコットキャラクター
あかいわももちゃん



消防学校

消防士として採用されると、まずは岡山県消防学校で約6ヶ月間の研修を行います。県内の他の消防本部の仲間とともに、寝食をともにしながら、消防士になるために必要な専門的知識及び技術を学び、使命感と倫理観を持った消防士の教育訓練を行います。消防学校で学んだ経験は今後の消防人生の礎になります。卒業後、各消防署へ配属され、勤務します。

消防署の1日

8:30~	9:00~	12:00~	13:00~	16:00~	17:00~	22:00~	5:00~	8:30
<ul style="list-style-type: none"> 引継 車両・資器材点検 勤務の交替 	<ul style="list-style-type: none"> 無線設備の点検 事務処理 訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食 休憩 	<ul style="list-style-type: none"> 車両運用訓練 消防水利調査 訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 各個訓練 体力調整 	<ul style="list-style-type: none"> 事務処理 入浴 夕食 	<ul style="list-style-type: none"> 仮眠時間 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃 朝食 起床 	<ul style="list-style-type: none"> 引継 勤務の交替

二交替制

勤務は二交替制で、2つの班が24時間交替で勤務します。当務→非番を繰り返し、4週間に8日の週休日が入ります。

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
○当務	△非番	○当務	△非番	○当務	△非番	◇週休	◇週休	○当務	△非番	○当務	△非番	◇週休	◇週休
1 週目							2 週目						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
○当務	△非番	○当務	△非番	○当務	△非番	◇週休	◇週休	○当務	△非番	○当務	△非番	◇週休	◇週休
3 週目							4 週目						

福利厚生

休暇

原則として4週間に8日の休みがあります。また、右の表のとおり様々な休暇制度がある中、ワークライフバランスの充実を目指し、特に男性女性共に育児休業の推進に努めています。

年次有給休暇	1年を通じて20日 (最大40日)
特別休暇	介護・育児・出産 配偶者の出産 子どもの看護 夏季休暇 結婚・葬儀・自然災害

各種手当

特殊勤務手当	<ul style="list-style-type: none"> ●出勤手当 救急救命士 570円 機関員 380円 隊員 300円 ●夜間通信勤務手当 ●災害応急作業等手当 	住居手当	賃貸住宅に居住する場合に、月額家賃に応じて支給
時間外勤務手当	夜間の出勤など勤務時間外の勤務時間に応じて支給	通勤手当	自宅から勤務地までの距離に応じて支給
期末・勤勉手当	6月と12月の年2回勤務成績に応じて支給	扶養手当	扶養親族の人数に応じて支給

職員インタビュー



消防総務課職員

- ▶現在の業務は？
市内で活動する消防団員のための事務をしています。主な業務は、団員の方が着用する被服の購入や、消防団車両の管理などを行っています。消防団員の方が、安全に活動できる環境を目指して業務を行っています。
- ▶なぜ赤磐市を選びましたか？
私は生まれも育ちも赤磐市です。幼い頃から消防士になることが夢でした。高校3年生の時、迷わず赤磐市消防本部の採用試験を受験しました。

消防の仕事は、災害現場に出勤するだけが仕事ではありません。誰かのために“縁の下の力持ち”の役目をすることもあります。それでもすべては“人の命を救う”ことに繋がります。

- ・2006年 消防士拝命
- ・2019年 救急救命士資格取得
- ・2025年 消防総務課 消防団係 主査



消防署職員

- ▶現在の業務は？
市内で発生する、火災・救急・救助などすべての災害に出勤しています。主な業務は、所属する予防係の業務として、広報活動や火災調査書類の確認などを行っています。
- ▶なぜ赤磐市を選びましたか？
私の地元は福岡県です。岡山県内の大学に進学し、将来は警察官になろうと思っていましたが、大学の先生から消防士を勧められ、受験しました。

はじめは不安なことばかりでした。消防学校の仲間や、所属の先輩や同僚と過ごしていく中で色々なことを学ぶことが出来ました。誰もが最初から“消防士”として活躍できる訳ではありません。少しずつコツコツと頑張っていくことが大切です。

- ・2022年 消防士拝命



女性職員Q&A



Q.女性が活躍しづらいイメージがありますが、大丈夫でしょうか？

A.女性専用の部屋、お風呂、トイレ、洗濯機などハード面が整っており、とても働きやすい環境です。男性職員は優しく、人間関係も良好です。頑張れば救急救命士にもなれます。今後は管理職になれるようチャレンジしていきたいと考えています。

Q.運動神経が重要で筋トレばかりしているイメージですが、大丈夫でしょうか？

A.イメージ通りです(笑)でも、心配はいりません。運動神経が悪くても努力すれば、克服できます。職員みんなで、トレーニングをしたり、訓練をしたりします。ひとりで悩んだり、苦しんだりすることはありません。

Q.消防学校がキツイと聞きますが、大丈夫でしょうか？

A.入校前にトレーニングをしっかりとっておいてください！消防学校は厳しいところです。ですが、消防士としてとても大切なことを教えてくれる場所です。そして、消防学校では班の仲間と苦楽を共にします。悩みは班員とともに解決していきます。

Q.女性職員として勤務はやりにくくないですか？

A. 育児、出産、結婚、介護などの休暇もあり、とても働きやすい環境です。女性にしかできないこと、男性にしかできないこと、お互いバランスを取りながら自分の力を生かしつつ、助け合って働ける環境です。

Iターン職員(2025年度採用)



前の職場は愛媛県内の消防本部で、6年間勤務していました。私の地元は広島県ですが、高校3年生の頃、どうしても消防士になりたいくて、いろいろな消防本部を受験しました。結婚し、子供が生まれたことをきっかけに生活環境に不安を感じるようになっていたころ、思いがけず赤磐市消防本部の採用案内を目にしました。家族の後押しもあり、全く知らない街でしたが受験を決意しました。

以前所属していた本部は小規模な消防本部だったため、赤磐市消防本部の勤務体制や業務にもすぐに慣れることが出来ました。

地元を離れ、初めて生活する地に不安もありましたが、赤磐市は高速道路があったり、岡山市街地にも30分程で行けるなどの利便性もあったので、すぐに生活に慣れることが出来ました。

どこに行っても「消防士」として、住民に貢献する。消防士であり続ける限り、この使命感は変わりません。是非、私たちと一緒に働きましょう！

Jターン職員(2024年度採用)



転職前は、広島県内の消防本部で、主に消防隊として3年間勤務していました。

地元に戻りたいと思っていたころ、結婚し子供が生まれたことがきっかけとなりました。

妻からも、岡山に戻ることは賛成してもらえました。私自身の地元は岡山市ですが、

偶然見つけた採用試験が赤磐市だったため受験を決意しました。

前の職場では消防隊が主担当でしたが、現在は主に救急隊として活動しています。慣れない業務に不安はありますが、「人命救助」という目的はどこに行っても変わらないため、働きづらいつ感じることはありませんでした。

働く街は違いますが、「消防」という仕事は変わらないため、すぐに職場になれると思います。

職場の皆さんもたくさん話しかけてくれるので、すぐに溶け込めました。

今までに身に付けた知識・技術・経験は必ず活かすことができ、その経験を還元して更なる組織の発展につなげていけると思っています。

是非、一緒に働きましょう！

Uターン職員(2010年度採用)



以前は神奈川県内の消防本部で、主に消防隊として4年間勤務していました。

高校卒業時、赤磐市で消防士になりたいと思い受験しましたが不合格でした。他の消防本部もいくつか受験し、神奈川県内の消防本部に就職を決めました。

しかし、地元に戻りたいという気持ちが強く、赤磐市消防本部の採用試験を再び受験しようと決めました。

前の職場は大規模な消防本部だったため、専任消防隊として活動するのみでした。

しかし、赤磐市消防本部は様々な業務を兼任して行うので、救急活動や査察、通信指令業務など、最初は戸惑うことが多かったですが、先輩方が優しくフォローしてくれました。

職員数が少ない分、年齢層が違う職員と関わることができ、仕事中はもちろん、非番日などプライベートでも一緒になって遊んでくれます！そして何より地元を守れることが一番大きな違いでした！

どこに行っても、同じ「消防」という仕事なので、ゼロからのスタートではなく、今まで積み上げてきた経験が役に立つと思います。転職が決まったら、Uターン職員の先輩として私がいろいろサポートしますよ！



市内アクセス



J R岡山駅からJ R山陽本線で約20分、J R瀬戸駅下車後、車で10分。



岡山空港から車で約30分
岡山駅から車で約30分
大阪から車で約2時間（高速道路利用）



市HP



消防本部HP



YouTube



問い合わせ先

赤磐市消防本部 消防総務課総務係
〒709-0807

岡山県赤磐市津崎114番地

電話: 086-955-2245

Mail : shobosoumu@city.akaiwa.lg.jp

